

HD FLOWTM 3

Super mini

ユーザーマニュアル



Invite to the new value
inbyte

ワイヤレスHDMI転送機『HD FLOW3 Super mini』をご購入いただき、ありがとうございます。

本書では製品の機能と操作方法をご案内しています。製品に関する重要な注意事項や、正しい取扱い方法なども記載されておりますので、ご利用前に必ずご一読ください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

目次

製品の特長	3
パッケージ内容	3
安全上の注意	4
製品の仕様に関する注意	4
製品仕様一覧	5
製品動作の概要	6～7
各部の名称と動作	8～17
設置方法1：ソース機器-送信機の接続	18～19
設置方法2：受信機-ディスプレイの接続	20
設置方法3：受信機を複数台使用する(マルチキャスト)	21
本体の操作	22
リセットとアップデート	22
よくある質問と回答	23～24
お手入れの方法について	24
保証とアフターサービス	25
製品保証書	26

製品の特長

- ▶ 最大60mの伝送距離を実現
- ▶ 映像遅延100ms未満
- ▶ HDCP (広帯域デジタルコンテンツ保護) V1.3に準拠
- ▶ DTV・VESA両方の規格に対応
【DTV：1920×1080、1280×720、720×480】
【VESA：WSXGA+ (1680)、SXGA (1280×1024)、WXGA (1280×800)、XGA (1024×768)、SVGA (800×600)、VGA (640×480)】
- ▶ パッシブ方式3Dコンテンツに対応
- ▶ ボタンを押すだけで簡単にオートスキャン・オートペアリングが可能

パッケージ内容



送信機 *1



受信機



スタンド×2 *2



ACアダプタ×2 *2



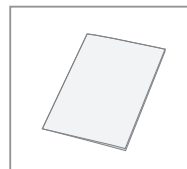
赤外線送信ケーブル *1



本体用リモコン



ボタン電池
(本体用リモコンに使用)



取扱説明書(本書)



オプション

赤外線受信延長ケーブル

*1 HDF-S300Rには付属していません。

*2 HDF-S300Rの場合は1個のみ付属します。

破損や不足品がある場合、そのまま使用せず、購入店舗までお問い合わせください。

安全上の注意



警告

以下の注意事項を必ずご確認ください。
製品を正しく使用しなかった場合、重大な事故につながる恐れがあります。

- ▶ 本製品を使って屋外で通信を行うことは電波法で禁止されています。
- ▶ 本製品を分解・改造しないでください。また、分解・改造された製品に関しては、保証期間内であっても保証対象外となります。
- ▶ 本体やケーブルの上に物を載せたり、無理な力のかかる環境で使用しないでください。また、ケーブルを折り曲げたり、切断・加工を行わないでください。
- ▶ 本製品の中に異物を入れないでください。
- ▶ 本製品は室内用の精密機械です。以下の条件で保管・使用しないでください。
屋外／高温になる場所／火気に近い場所／引火性液体や可燃性ガスにさらされる恐れのある場所／湿気の多い場所／水にぬれる恐れのある場所／埃の多い場所／強い電磁波・磁力の発生する場所／静電気の多い場所／結露の発生しやすい場所
- ▶ 本製品に純正アダプタ以外を使用しないでください。
- ▶ 本製品が正しく動作しない場合や、本体に変形や発煙が見られる・異音や異臭がする場合には、ただちに使用を中止してください。
- ▶ ACアダプタなどのケーブルに破損が見られる場合、ただちに使用を中止してください。
- ▶ 本製品やその付属品をお子様の手の届くところに放置しないでください。
- ▶ 本製品を長時間使用しない場合、ACアダプタを抜いて保管してください。
- ▶ 本製品を使用したことで発生したいかなる損害に対しても保証はいたしかねます。

製品の仕様に関する注意

- ▶ ポート切り替えを行う際、約数十秒の間、映像転送が中止されます。
- ▶ 設置環境や接続機器の仕様によっては、映像転送を行えない場合があります。
- ▶ 本製品は他社製の機器との互換性および併用を保証するものではありません。互換性および干渉に関する問題の解決は、お客さまの責任で行っていただきます。
- ▶ 製品の仕様や本書の内容は、性能改良のため、事前の通告なしに変更されることがあります。そのため、お買い上げの時期によっては、同一製品であっても多少の差異が生じる場合がございます。
- ▶ 著作権法で許可されている場合を除き、本書のいかなる部分も事前の書面許可なしに複製・コピー・翻訳することはできません。

製品仕様一覧

映像入力	HDMI端子……………× 3 HDMIパススルー端子……………× 1
映像出力	HDMI端子……………× 1
接続方式	無線:802.11n
無線周波数	5.15～5.25 GHz
伝送距離	最大60m ※利用環境や遮断物の有無によって大きく変わります。
セキュリティ	WPA2、AES
エンコード	H.264 Baseline Profile
デコード	H.264 Baseline, Main, High Profile
受信機の増設(無線接続)	送信機 1台に対し最大 6台
映像遅延	100mS
対応解像度	480i/p、720p、1080i/p (24/30/60fps)
アンテナ	(送信機・受信機ともに) MIMO対応内蔵アンテナ× 2
赤外線送信	赤外線送信ケーブル(3台まで送信可)
赤外線受信	(送信機・受信機ともに) 本体内蔵
電源	(送信機・受信機ともに) 入力:AC100V～240V 50/60Hz 0.55A 出力:DC12V 2A
寸法	(送信機・受信機ともに) W28×D99×H120mm
重さ	(送信機・受信機ともに) 150g
動作環境	0℃～40℃(保管温度:-10℃～85℃)

製品動作の概要

ソース機器

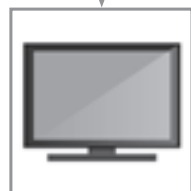


転送する映像の
ポートを選択して
送信機に入力

送信機



パススルー出力(1台のみ)



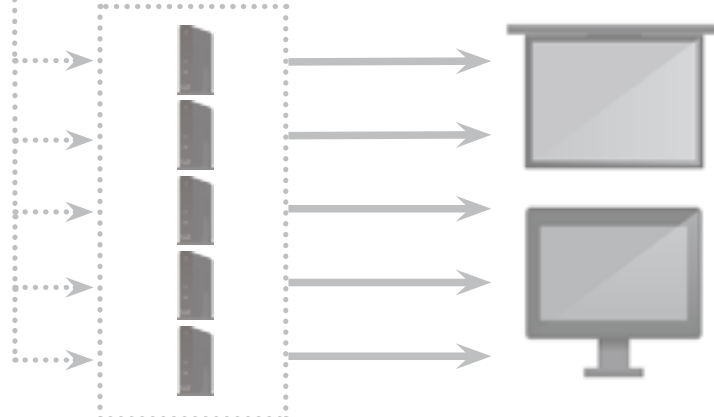
ディスプレイ

受信機



転送されてきた映像をディスプレイ
に出力

ディスプレイ



増設受信機(別売)

送信機1台に対し、受信機は最大
6台までペアリング可能

本体に使用できるリモコン



本体用リモコン

送信機または受信機に向けて使用すると、スタンバイモード(詳細→P.22)への切替やポート選択の変更などを行うことができます。



ソース機器のリモコン

受信機に向けて使用すると、ソース機器を操作できます。
※赤外線送信ケーブルの設置が必要です。また、リモコンによっては操作ができない場合もございます。

マルチキャスト(受信機の複数台使用)

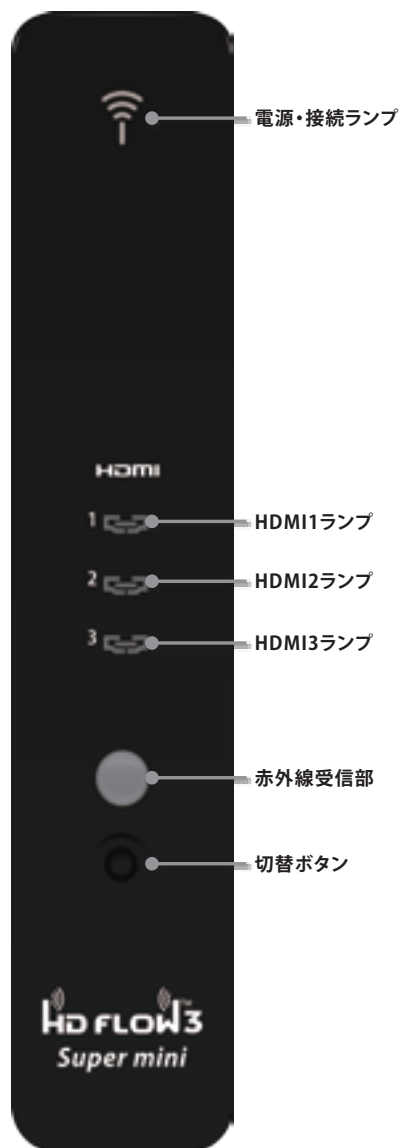


送信機1台に対し受信機を6台まで使用できます。また、設置領域(半径60~100m)内には、最大で12台まで受信機を設置することができます。

※設置領域は目安です。環境により大きく異なります。

各部の名称と動作

送信機 正面



送信機の正面には、本体や各ポートの状態を表すランプと、送信機を操作するためのボタンが設けられています。

映像が正常に転送できない場合、まずは各ランプの動作状態を確認してください。

各ランプの示す状態

電源・接続ランプ

- 点滅：起動中など、送信機-受信機の接続が確立できていない状態です。
- 点灯：送信機-受信機の接続が確立し、映像転送の用意ができています。

HDMI1、HDMI2、HDMI3

- 点滅：選択中のポートにソース機器の接続が検知できません。
- 点灯：選択中のポートに接続されたソース機器を正常に検知しています。

切替ボタンの動作

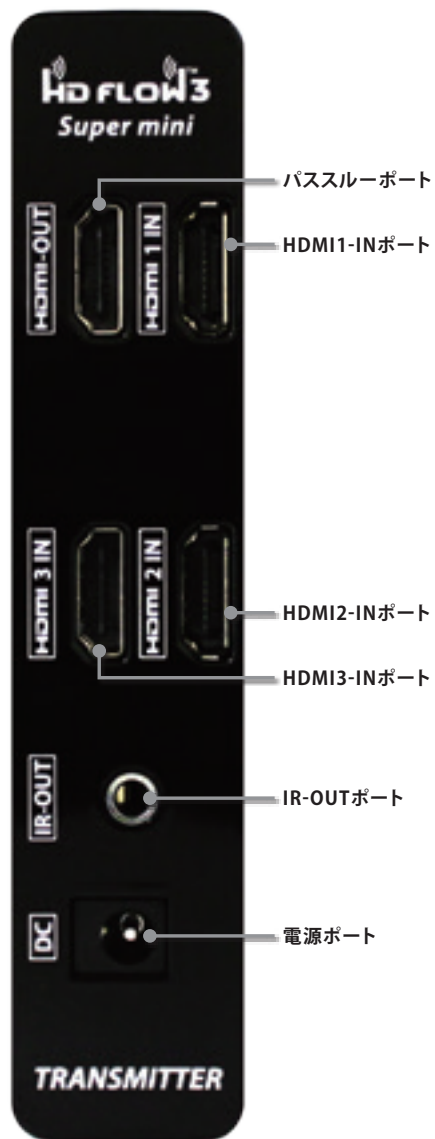
送信機の電源がオンのとき

- 押下：転送するソースを切り替えます。(HDMI 1 → HDMI 2 → HDMI 3)
- 長押(8秒)：スキャン・ペアリングモードを開始します。

受信機がスタンバイモードのとき

- 押下：スタンバイモード(詳細→P.22)を解除します。(約30秒かかります)

送信機
裏面



送信機の裏面には、ソース機器と接続するための各種ポートのほか、赤外線送信ケーブル用のIR-OUTポートなどが設けられています。

パススルーポート

HDMI1のソースをそのまま出力します。

パススルーは電源・接続ランプの点滅中や、スタンバイモード中などでも動作します。

HDMI 1 ~ 3 ポート

HDMIケーブルでソース機器と接続します。

3台未満のソース機器と接続する場合には、番号が若いポートから順に使用してください。

IR-OUT

赤外線送信ケーブルを接続します。

受信機の赤外線受信部に向けてソース機器のリモコンを使用すると、赤外線送信ケーブルを経由して信号が伝わります。

受信機 正面



受信機の正面には、本体やポートの状態を表すランプと、受信機を操作するためのボタンが設けられています。

映像が正常に転送できない場合、まずは各ランプの動作状態を確認してください。

各ランプの示す状態

電源・接続ランプ

- ① 点滅：起動中など、送信機-受信機の接続が確立できていない状態です。
- 点灯：送信機-受信機の接続が確立し、映像転送の用意ができています。

HDMI1

- ① 点滅：選択中のポートにディスプレイの接続が検知できません。
- 点灯：選択中のポートに接続されたディスプレイを正常に検知しています。

切替ボタンの動作

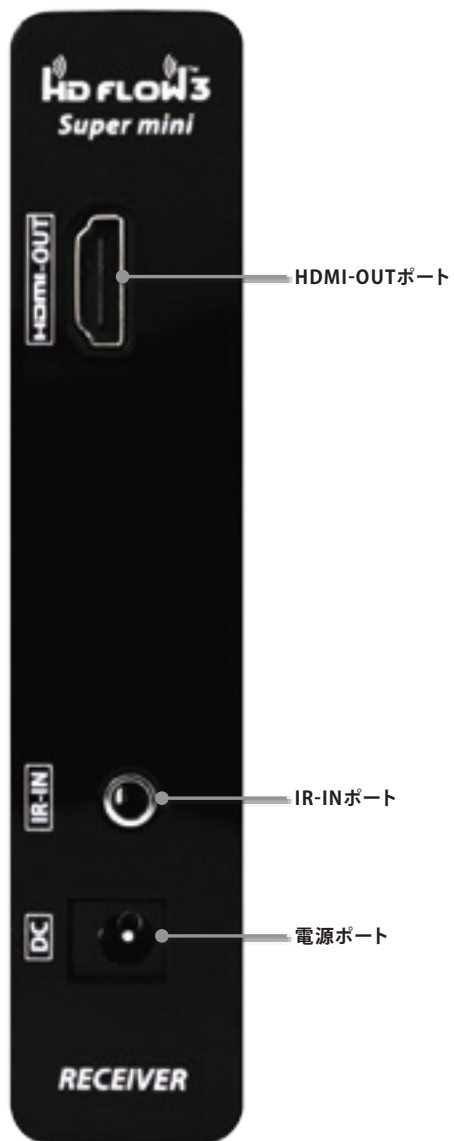
受信機の電源がオンのとき

- 長押（8秒）：スキャン・ペアリングモードを開始します。

受信機がスタンバイモードのとき

- 押下：スタンバイモード（詳細→P.22）を解除します。（約30秒かかります）

受信機
裏面



受信機の裏面には、ディスプレイと接続するためのポートのほか、赤外線受信延長ケーブル用のIR-INポートなどが設けられています。

HDMIポート

HDMIケーブルでディスプレイと接続します。
送信機から無線転送されてきた映像をディスプレイに出力します。

IR-INポート

赤外線受信延長ケーブル(オプション)を接続します。
リモコンは本来、受信機本体(表面)の赤外線受信部にのみ使用することができます。IR-INポートに赤外線受信延長ケーブルを接続すると、ケーブルに付属している受信ユニットへ向けでもリモコン操作が可能になります。

本体用 リモコン

本体を操作するためのリモコンです。本体表面の赤外線受信部へ向けて使用します。

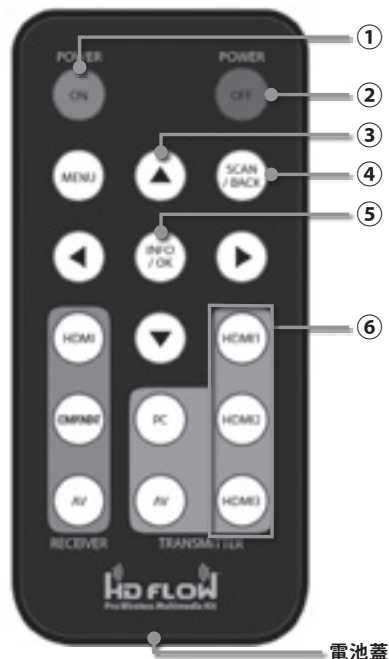
受信機を複数台使用している場合は操作対象が異なる場合があります。下記の表をご参照ください。

電池蓋の中にはボタン電池をセットする必要があります。ロック部分を押しながら蓋を引き出してください。

※ポート切り替えの際、約数十秒の間、映像転送が中止されます。

※電源・接続ランプの点滅中は操作することができません。

※解説のないボタンは使用しません。



操作対象と動作の表

	P2P(1:1)	マルチキャスト
①電源オンボタン	送信機・受信機をスタンバイモードから復帰	ペアリング中の全台をスタンバイモードから復帰
②電源オフボタン	送信機・受信機をスタンバイモードに切替	【送信機に向けて押下】ペアリング中の全台をスタンバイモードに切替 【受信機に向けて押下】リモコンを向けている受信機をスタンバイモードに切替
③上矢印ボタン	赤外線周波数帯を変更	
④スキャンボタン	【送信機に向けて押下】送信機をペアリングモードに切替 【受信機に向けて押下】送信機と、リモコンを向けている受信機をペアリングモードに切替	
⑤INFOボタン	【送信機に向けて押下】送信機の情報を表示 【受信機に向けて押下】送信機と、リモコンを向けている受信機の情報を表示	
⑥送信機ポート選択ボタン	送信機のポート選択を変更	

①電源オンボタン

スタンバイモード(詳細⇒P.22)を解除します。

②電源オフボタン

スタンバイモード(詳細⇒P.22)に切り替えます。

③上矢印ボタン

ボタンを押して周波数帯を切り替えます。(31KHz→38KHz→47KHz→57KHz)

赤外線送信ケーブルを設置している環境で、ソース機器のリモコンが動作しない場合に使用します。このボタンを押して周波数帯を変更し、動作を確認してください。全ての周波数帯で動作しなかった場合は、赤外線送信ケーブルがソース機器の受光部に正しく接続されているかご確認ください。

④スキャンボタン

ペアリングモード(詳細⇒P.21)を開始します。無線LAN周波数帯は、利用可能なものから最適なものを選択します。選択された周波数は⑤INFOボタンで確認できます。

⑤INFOボタン

本体の情報を表示します。送信機との接続が確立されていない場合は、送信機の情報も表示されません。

■TX(送信機の情報)

項目	内容
WIFI	WIFIのIPアドレス
S/W	本体のファームウェアバージョン
Video	選択中のポートと、転送する映像の解像度

■RX(受信機の情報)

項目	内容
WIFI	WIFIのIPアドレス
MAC	MACアドレス
Frequency	使用している無線周波数帯
Quality	通信強度
ESSID	ネットワーク識別子
Display	出力先に選択されているディスプレイの情報
S/W	本体のファームウェアバージョン

■IR(赤外線の情報)

内容
使用している赤外線周波数帯

⑥送信機ポート選択ボタン

送信機のポート選択を切り替えます。

設置方法 1 : ソース機器-送信機の接続

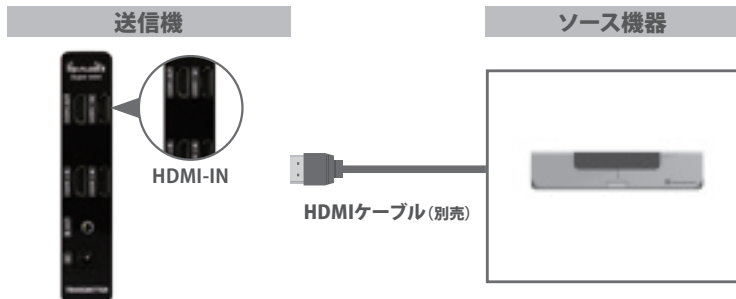
II 設置前にご確認ください

- ▶ 増設用受信機 (別売) を使用する場合は先にペアリング設定を行ってください。(参照→P.21)
- ▶ ソース機器と接続するためのケーブルはセットには含まれていません。別途ご用意ください。
- ▶ 設置を行う前に、ソース機器やディスプレイの電源をオフにしてください。
- ▶ ケーブルやアダプタはしっかりと差し込んでください。
- ▶ 不安定な場所に設置しないでください。

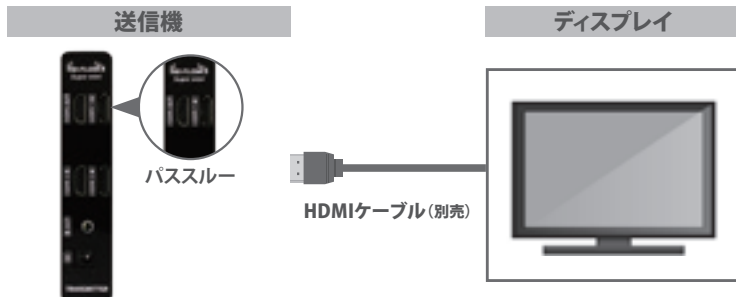


1 : 1 接続の場合、設置領域内に 4 セットまで設置することができます。

- 1 HDMIケーブルを使い、送信機の【HDMI-INポート】とソース機器を接続します。



- 2 パススルー機能を利用する場合は、HDMIケーブルで送信機の【パススルーポート】とディスプレイを接続します。



II 赤外線送信ケーブルの設置

【赤外線送信ケーブル】をソース機器に設置することで、受信機に対してソース機器のリモコンが使用できるようになります。

【赤外線送信ケーブル】には 3 つのユニットが付属しているため、3 台までソース機器の制御が可能です。

- 1 【赤外線送信ケーブル】を送信機の【IR-OUTポート】に接続します。

- 2 【赤外線送信ケーブル】のユニットをソース機器の受光部に貼り付けます。
受光部の位置はソース機器の取扱説明書をご参照ください。



II ACアダプタの接続

【ACアダプタ】を送信機裏面の【電源ポート】に接続し、コンセントとつなぎます。

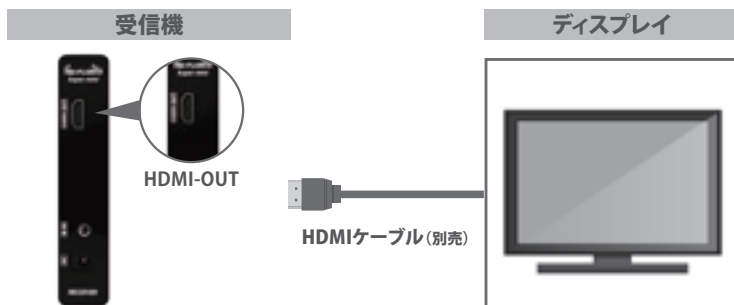
設置方法 2：受信機-ディスプレイの接続

設置前にご確認ください

- 増設用受信機（別売）を使用する場合は、先にペアリング設定を行ってください。（参照→P.21）
- ディスプレイと接続するためのケーブルはセットには含まれていません。
- 設置を行う前に、ソース機器やディスプレイの電源をオフにしてください。
- ケーブルやアダプタはしっかりと差し込んでください。
- 不安定な場所に設置しないでください。

HDMIケーブルによる接続

HDMIケーブルを使い、受信機の【HDMI-OUTポート】とディスプレイを接続します。



赤外線受信延長ケーブルの設置

別売の【赤外線受信延長ケーブル】を受信機に接続することで、リモコン（本体用・ソース機器用）の操作を受け付ける範囲を拡張することができます。

1 【赤外線受信延長ケーブル】を受信機の【IR-INポート】に接続します。

2 【赤外線受信延長ケーブル】の延長受光部を任意の場所に貼り付けます。

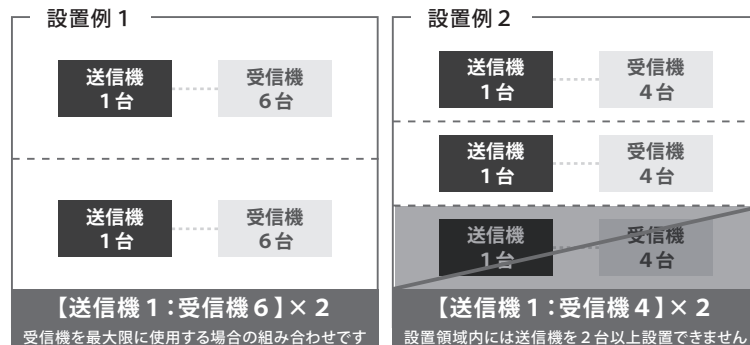


ACアダプタの接続

【ACアダプタ】を受信機裏面の【電源ポート】に接続し、コンセントとつなぎます。

設置方法 3：受信機のマルチキャスト

受信機の複数台設置（マルチキャスト）について



マルチキャストモードでは**送信機 1 台**に対し**受信機 6 台**までのペアリングが可能です。

また、設置領域（半径60m～100m）全体においては、**送信機を 2 台**まで、**受信機を 12 台**まで設置することができます。

- 増設用受信機はセットパッケージには含まれていないため、別途購入の必要があります。
- 設置領域の範囲は、周辺環境などにより大きく異なります。
- 制限台数を超過していない場合でも、設置環境などにより転送が正常に行われな場合があります。
- 受信機をマルチキャストで使用する場合は、ペアリングを完了した後で設置することが推奨されます。
- 受信機は必ず 1 台ずつペアリングを行ってください。ペアリング後の再起動が完了するまでは他の受信機をペアリングモードにしないでください。
- 送信機と受信機を 1 対 1 で使用する場合には、以下の操作は必要ありません。セットパッケージの本体は工場出荷時にペアリングが完了しています。

1 送信機と受信機の【電源ポート】に【ACアダプタ】を接続し、コンセントとつなぎます。電源が供給されると本体は自動的に起動します。本体の起動が完了した後、次の手順を開始してください。

2 ペアリングを行う受信機と送信機それぞれに対し、本体用リモコンの【スキャンボタン】を押します。または、本体表面にある【切替ボタン】を長押しします。（8秒間）ランプが点滅し、ペアリングモードが開始されます。送信機と受信機がペアリングモードになっていると、自動で対象を検知してペアリングを実行します。

※対象が検知できない場合、2分間ペアリングモードを継続した後、通常モードに戻ります。

※ペアリングから再起動完了までの間、映像転送は行われません。

3 ペアリングはおおよそ30秒ほどで完了し、再起動が開始されます。再起動が完全に完了して【電源・接続ランプ】が点灯した後、上記 2～3 の手順を繰り返し、増設用の受信機すべてにペアリングを実行してください。

■ 本体の操作

II スタンバイモード(待機状態)への切替

本体用リモコンの【電源オンボタン】【電源オフボタン】によって、本体の動作オン・オフを操作できます。

オフにすると本体はスタンバイモードとなり、オンにするまでは映像転送を行いません。(パススルー出力は継続します)

II ポート選択の切替

送信機のポートを切り替える場合は、本体の【切替ボタン】を押下します。また、本体用リモコンの操作によって切り替えることもできます。本体用リモコンの操作対象などはP.16の表をご参照ください。

■ リセットとアップデート

II 本体をリセットする(工場出荷時の状態に戻す)方法

リセットを行うことで、本体の設定を初期状態(工場出荷時)に戻すことができます。

本体をリセットする際は、送信機と受信機の両方に対して行います。そのため、追加の受信機を使用している場合は全台で再度ペアリングを実行する必要があります。ご注意ください。

手順は下記の通りです。1台ずつリセットを実行してください。

1 本体の【電源ポート】から【ACアダプタ】を取り外します。

2 本体表面にある【切替ボタン】を押しながら、【ACアダプタ】を接続し直します。本体のランプが全点灯するまで約6秒間【切替ボタン】を押したままにします。

3 本体のランプが全点灯しリセットが開始され、その後、再起動が完了するのと同時に本体のリセットが完了します。

4 増設用受信機を使用していた場合、送信機と追加分の受信機のペアリングを再実行してください。

II ファームウェア情報の確認・アップデート

送信機または受信機へむけて本体用リモコンの【INFOボタン】を押すことで、本体ファームウェアのバージョンを確認することができます。

最新のファームウェアおよびアップデートの手順は、販売元ホームページ(www.inbyte.jp)をご参照ください。

■ よくある質問と回答

II 送信機・受信機間の接続が完了しない

- ▶ 設置環境を変えて動作を確認してください。
- ▶ 他の設置機器からの干渉がないかご確認ください。本製品はFCC認証を取得していますが、他の電子機器との距離やその仕様などにより、通信に影響が出る可能性があります。
- ▶ 送信機と受信機の間には障害物がある場合、その性質などによって通信に影響が出る可能性があります。
- ▶ 【ACアダプタ】を取り外し、30秒程度の時間をおいてから再度差し込んでください。
- ▶ ペアリングを再実行してください。
- ▶ 本体をリセットし、工場出荷時の状態に戻してください。
- ▶ 各ケーブルに脱落がないかご確認ください。

II ディスプレイに映像が表示されない

- ▶ 送信機のポートが正しく選択されているかご確認ください。
- ▶ ソース機器が正常に動作しているかご確認ください。

II パススルー機能とは何ですか？

- ▶ 入力された映像・音声をそのまま出力する機能です。HDMI1-INポートの内容を接続したディスプレイへ出力します。これにより、分配器を使用せずにソース機器側でも映像を見ることができます。

II パススルー出力と転送映像にずれが生じる

- ▶ パススルー出力は信号の遅延がないため、転送した映像と比較するとずれが生じる場合がございます。

II 受信機の赤外線受信範囲はどれぐらいですか？

- ▶ 最大で約1.8m～約2.4mですが、ご利用の環境により大きく異なります。受信範囲を広げたい場合は赤外線受信延長ケーブルをご利用ください。

II ソース機器のリモコンが使用できない

- ▶ 本体用リモコンの【上矢印ボタン】を使用すると、赤外線周波数帯を切り替えることができます。赤外線リモコンで使用されている一般的なIRプロトコルをサポートしているため、ほとんどの赤外線リモコンで操作を行うことができますようになります。

II 接続が不安定になる

- ▶ 他機器による干渉が発生している場合があります。設置環境を変えて再度ご確認ください。また、送信機のACアダプタを取り外し、再度接続する(再起動すること)で、最適な周波数帯のスキャン・変更を自動で行うことができます。

II 各種認証を取得していますか？

▶ 本製品はTELEC認証(工事設計認証)、FCC認証を取得し、CEマーキングを行っております。

II サラウンド音声出力に対応していますか？

▶ 本製品はステレオ音声出力にのみ対応しています。

II 3Dコンテンツには対応していますか？

▶ パッシブ方式にのみ対応しております。アクティブ方式には対応しておりません。

お手入れの方法について

本体・ケーブル・アダプタなどの周囲に埃がたまると、火災の原因となる恐れがあります。設置後も本体に異常がないか定期的に確認してください。

お手入れする際は、柔らかい乾いた布で本体表面を軽く拭いてください。感電やケーブルの脱落などを防ぐため、本体からACアダプタを取り外してからお手入れすることを推奨します。

また、製品の破損につながりますので、水やクリーニング剤などは使用しないでください。

II 保証規定

1. 本書の注意にしたがい正常に使用した場合に限り、お買い上げの日より1年間無償で修理または交換いたします。
2. 修理または交換の必要が生じた場合は、製品に保証書を添えて、お買い上げのお店もしくは当社へご持参いただくか、ご郵送ください。
3. 修理または交換のご依頼で、ご持参およびお持ち帰りに必要な交通費、または送付いただく際の送料および諸経費につきましては、お客様がご負担くださいますようお願い致します。郵送の場合、適切な梱包の上、紛失等を避けるため簡易書留をご利用ください。
4. 保証期間内であっても以下の場合には有償修理となります。
 - イ. 誤用、乱用および取り扱いの不注意による故障
 - ロ. 火災、地震、水害および盗難等の災害による故障または紛失
 - ハ. 許可を得ていない不当な改造や修理による故障や損傷
 - ニ. 使用中に生じたキズ等の外観上の変化
 - ホ. 消耗品および付属品の故障、損傷または紛失
 - ヘ. 保証書の提示がない場合および必要事項(お買い上げ日、販売店名等)の記入がない場合
5. 保証書は日本国内においてのみ有効です。いかなる場合においても保証書の再発行はいたしかねますので、大切に保管してください。

II 修理をご依頼の前に

本書の「よくある質問と回答(P.23~P.24)」をよくお読みいただき、それでも解決しない場合は、サポートセンターまでご相談ください。

サポートセンターへお問い合わせの際は、不具合の内容のほかに『購入店舗(ネットショップの場合はショップ名)』『購入時期』『不具合の発生時期』『使用状況』などの情報が必要となります。あらかじめご用意の上、お問い合わせいただきますようお願い申し上げます。

製品保証書

機種名	HD FLOW3 Super mini HD FLOW3 Super mini 増設用受信機		
型番	HDF-S300 HDF-S300R		
保証期間	お買い上げ日より1年間		
お買い上げ日	年	月	日
お客さま	お名前		
	ご住所		
	お電話番号		
	メールアドレス		

販売店

- ※ 販売店さまへ：販売店欄にご記入もしくは押印ください。
- ※ 本保証書は、保証規定に基づき製品に対し保証するものです。お客さま欄をご記入のうえ、大切に保管してください。販売店欄に記入がない場合は、お買い求めのお店に記入していただいでください。
- ※ この保証書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

株式会社INBYTE サポートセンター

〒105-0013 東京都港区浜松町1-17-4 第2丸芝ビル2階

メールアドレス admin@inbyte.jp

電話番号 03-6809-1702

受付時間 10:30～18:00

(土・日曜日、祝祭日および当社指定休業日を除く)

ホームページ <http://inbyte.jp/>

- ※ 本製品に関するお問い合わせ、およびサポートについては日本国内限定とさせていただきます。
- ※ 通話中の場合、しばらく経ってからお掛け直しいただけますようお願いいたします。
- ※ 年末年始などのサポートセンター休業日には、お客様へのご対応ができない場合がございます。

MEMO

Invite to the new value
inbyte



FC

CE



RoHS